

2011年8月期中間

INTERIM BUSINESS REPORT

2010.9.1→ 2011.2.28



Koshidaka HOLDINGS

株式会社 **コシダカ** ホールディングス

証券コード:2157



「がんばろう!! 東日本」を合言葉に、 希望や活力に溢れた社会を創出する サービスを提供してまいります。

代表取締役社長 腰高 博

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

この度の東日本大震災により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

当社グループにおきましては、「がんばろう!! 東日本」を合言葉に、いち早く復興支援活動に取り組んでおります。被災地の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

Q1 ホールディングス体制となって 半年経過しましたが、手応えはいかがですか。

既に相乗効果は出てきています。3事業ともに「お客様に喜び、感動、驚きをお届けする」という点で目指す方向は同じですから、融合を図りつつも事業間で良い意味での競争意識が芽生え、社内が活性化したことは成果でしょう。今後は、相乗効果を追求していくために、組織と人材の拠点として東京オフィスを開設いたしましたので、さらなるグループ内の連携強化および業務効率化によるシナジーを創出してまいります。

Q2 下期の経営環境と方針をお聞かせください。

業績の点では、第2四半期まではおかげさまで順調に推移しました。下期は震災による直接的な被害以外に、福島第一原子力発電所における事故や電力供給逼迫に伴う計画停電の影響、さらには消費マインドの冷え込みなど、経営環境は厳しいものと想定されますが、そこで見込まれるマイナス分を補う新たな施策を打ち出してまいります。幸い、2010年10月に開始した温浴事業が好調で、第4の事業として収益化のめどが立ちましたので、他の地域へ展開することを検討してまいります。

Q3 株主の皆様へのメッセージをお願いします。

厳しい経営環境の中ではありますが、経営を停滞させることなく選択的な投資を行い、さらなる成長の準備を進めてまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

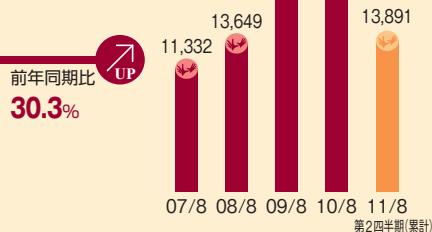
● 財務ハイライト

1. カラオケ事業、カーブス事業が順調に推移するとともに、新たにボウリング事業等が加わったことにより、売上高は138億91百万円（前年同期比30.3%増）
2. 株式会社スポーツの連結子会社化に伴う負ののれん発生益など特別利益として11億93百万円計上する一方で、資産除去債務会計基準の適用に伴い特別損失を1億94百万円計上
3. 四半期純利益は当初予想を上回り19億58百万円（前年同期比195.8%増）

単位：百万円

売上高

138億91百万円



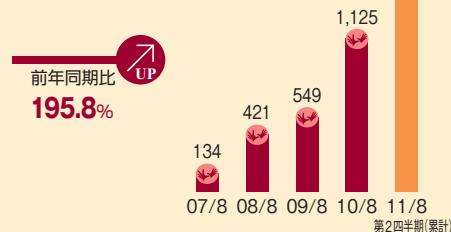
経常利益

15億97百万円



四半期(当期)純利益

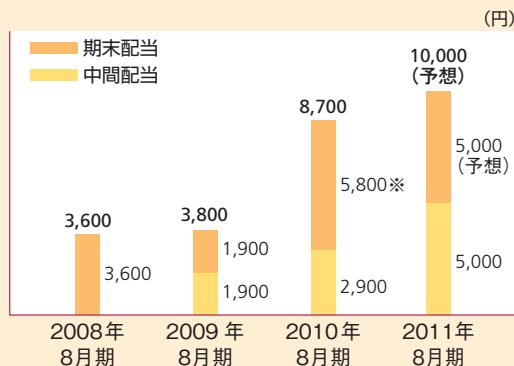
19億58百万円



※2008年8月期までは単体の数値です

中間配当を増配しました。

当期は、1株当たり中間配当5,000円に期末配当5,000円を加え、合計10,000円とさせていただきます予定です。



※期末配当 5,800 円のうち記念配当 2,900 円を含む

2011年8月期業績予想

売上高 28,370百万円

経常利益 3,162百万円

当期純利益 2,329百万円

年間配当金 10,000円

カラオケ事業

売上高

8,643百万円

前年同期比

5.1%



セグメント利益

1,140百万円

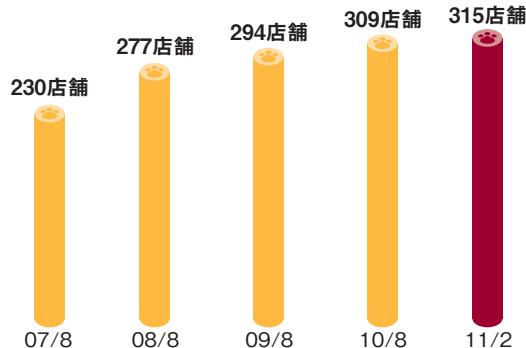
カラオケ市場は、中小規模のチェーンやカラオケ店の廃業・閉店が続く一方で、大手チェーンへの集約化と新店攻勢が進行し、競合は激しさを増しております。

このような経済環境と事業環境の中で当社グループは、当第2四半期連結累計期間において8店舗（建築出店2店舗、居抜き出店6店舗）の新規出店を行い店舗網の拡大（当会計期間末315店舗。賃貸契約の終結に伴う閉店2店舗を含む。）に努めるとともに、内外装等ハード面の一新と料金等営業施策などのソフト面の見直しを併せた大規模リニューアルを25店舗実施（2008年11月以降累計80店舗実施）して既存店の集客力の維持拡大に注力するとともに、9月の定例「グランドメニュー」の改定、10月の「Bゴルフフェア（全国B級グルメフェア）」第2弾、11月の「宴会メニュー」、12月の「いちごフェア」および2月の「元気出していくわ（198）フェア」などにより、飲食メニューの多様化と質的向上を図り、飲食売上の拡大に努めました。

また、韓国での出店展開のためのソウル市内1号店開設準備も継続して進めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のカラオケセグメントの売上高は86億43百万円（前年同期比 5.1%増）、セグメント利益は11億40百万円となりました。

●店舗数推移



当第2四半期末
店舗数

315店舗（前期末比6店舗増）

事業の概況

5

BUSINESS REVIEW



お客様が喜びを感じ、有意義な余暇を楽しんでいただくために、「新しいサービスの創造」を追求してまいります。



全国には9,000店舗以上のカラオケ店があり、その中で競争優位性を発揮するためには、「驚き」と「感動」をご来店のたびに感じていただけるよう新しいサービスを創造していくことが必要です。カラオケボックス本来のサービスと、それを提供する接客面だけでなく、より快適に利用していただけるような安心・安全・清潔な施設づくりを常に意識することで、小さなお子さんからご年配の方まで幅広いお客様に愛され、また行きたいと思っただけの店舗づくりを目指してまいります。

本社施設担当として、店舗オープンに際し設備面の調査や工事業者の選定、工事内容の指示など多くの出店業務に携わる。

その後、エリアマネージャーとして群馬県の本社2階に店を構えた前橋本店の立ち上げと店長業務を行い、現在は首都圏事業本部 群馬第一ゾーンのゾーンサ

ブマネージャーとして群馬県12店舗のマネジメントを行う。施設担当として培った経験も活かし、お客様へのサービスをソフトとハードの両面から充実させることを心がけている。



株式会社コシダカ
首都圏事業本部 群馬第一ゾーン
ゾーンサブマネージャー 矢野 斉

6

3,610百万円

前年同期比
48.5%



567百万円

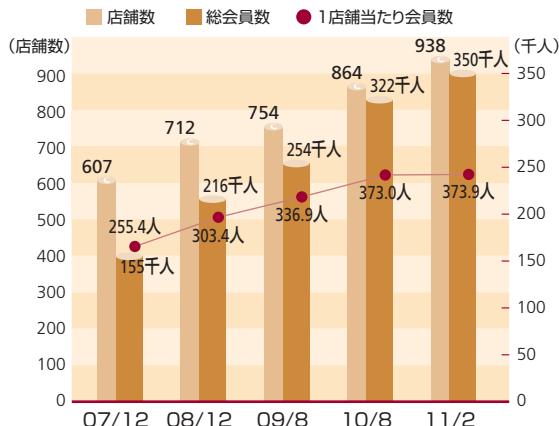
健康への関心の高まりが背景となって、「女性専用の30分フィットネス」としてのカーブスは中高年齢層を中心に認知が広がり、フィットネス業界において独自の地位を確立しつつあります。

そのような中、FC本部としては、既存店の業績向上を目的とする会員増強プログラムの開発と推進支援を通じて加盟事業者の多店舗展開を支援するとともに、スタッフの会員サービス力の向上施策を本部での集合研修、地区別研修会・会議の開催、加盟店訪店など様々な形態で努めてまいりました。さらに1月には、カーブス会員向け通信販売商品にプロテインが加わったことにより通信販売売上全体が好調に推移しております。

また、グループ直営店においては、店舗網の拡充を図るとともに、出店展開を通じて獲得されるノウハウの交流にも取り組みました。

これにより、当第2四半期連結累計期間において、加盟店舗数は74店舗増加（内グループ直営店3店舗増加）して938店舗（内グループ直営店36店舗。株式会社シュ克蘭の連結子会社化による増加19店舗を含む。）となり、当会計期間末加盟会員数は27千人増加し350千人となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のカーブスセグメントの売上高は36億10百万円（前年同期比48.5%増）、セグメント利益は5億67百万円となりました。



※(株)カーブスジャパンは、2009年8月期において決算期を12月から8月に変更しました。



スピーディーな「ノウハウ開発と共有」「人材開発」で女性のためのカーブス普及に努めてまいります。



フランチャイズチェーンが、強みを持って成長するためには、様々な店舗での「経験」をスピーディーに共有し、ノウハウ化することが必要だと感じています。そのための仕組みとして、各種の会議運営やSNSを活用した情報共有のためのツールなどを開発し、迅速な店舗展開を進めていくバックアップをしています。カーブスが理想とする女性像は、「自らの力で、自らの人生を切り開いていける女性」です。この理想像をあらゆる女性に共有していただき、ぜひ日本の女性にカーブスを広めていきたいと思っております。

「スポーツインストラクター」という仕事は、まったく未経験の分野であったが、まずは現場へ入り、2号店・3号店の立ち上げを経て、その後メンターとして、全国の加盟企業様の店舗の立ち上げをサポート。

「仕組みで加盟店様をサポートする」を使命に、全国の情報共有をスピーディーに行うためのWEBサイトを

開発。現在ではWEBサイトの他、会員様向けの雑誌（カーブスマガジン）を編集したり、スタッフ向けの冊子を作ったりするなど、チェーンのナレッジマネジメントを担うチームの一員として幅広く活動。

株式会社カーブスジャパン 事業開発部
ナレッジマネジメントチーム 小俣 恵



ボウリング事業

売上高

1,464百万円

セグメント利益

△77百万円

2010年9月1日付で株式会社スポーツの株式を取得し、当社グループが培ってきた「居抜き出店方式」のノウハウを活用してボウリング場の再生による店舗展開を開始いたしました。株式会社スポーツは、日本におけるボウリング場運営事業のパイオニアで、また「安」「近」「短」のスポーツであるボウリングを通じて周辺地域の健康増進活動に積極的に取り組んでいる企業です。当第2四半期連結累計期間に2店舗出店を行い、店舗数は14店舗となりました。また、全店舗で「健康ボウリング教室」を定期的で開催して、主として若い頃にボウリング経験のある中高年層の掘り起こしと固定客化に努めました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のボウリングセグメントの売上高は14億64百万円、セグメント損失は77百万円となりました。

健康ボウリング教室



・地元の体育協会や行政とタイアップし、スポーツが主催したボウリング教室。

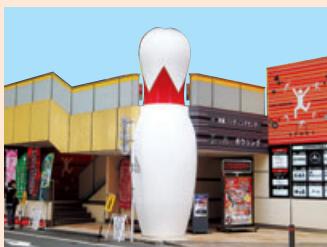
・社員の半数以上がプロ及びインストラクターの資格を持ち、団塊の世代・シニア層を中心に応募があり、全6週のカリキュラムを実施。

・ボウリングのレベルアップというよりも健康維持の観点から週1回体を動かすことが目的。



健康ボウリング教室を通じて、 お客様に「コミュニティ形成」のきっかけを提供してまいります。

スポーツでは、普段体を動かす機会の少ない中高年層を対象に、プロボウラーによる健康ボウリング教室を開催しています。他のボウリング教室との違いは、スコアアップや健康増進以外に、仲間づくりの場として機能しているところです。全6回のプログラムを終了した後も、たびたびボウリング場に足を運んでいただける固定客化につながっています。人間関係が希薄になったといわれる現代において、私たちは、お客様に「コミュニティ形成」のきっかけを提供できる存在でありたいと考えております。



ボウリングの競技中における他のプレーヤーとの会話やストレス発散につながるボウリングの魅力と接客の魅力に惹かれ、スタッフとして勤務する中でインストラクターの資格を取得。

上尾スポーツセンターでは、プロショップの管理者としての業務に携わる。その後、健康ボウリング教室の講

師として講義を受け持ち、ボウリングの楽しさや魅力を伝えた。

現在は、クラブリーグに所属したリーグボウラーのアフターフォロー業務を中心に担当し、その他先輩社員として後輩社員・アルバイトスタッフの育成に携わる。

株式会社スポーツ スポーツ上尾スポーツセンター
副主任 川口 将吾



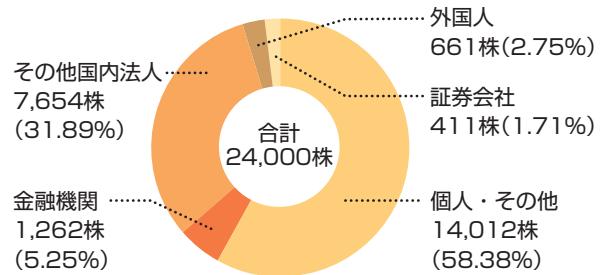
● 株式の状況

発行可能株式総数	96,000株
発行済株式の総数	24,000株
株主数	1,393名

● 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ヨウザン	7,600	31.66
腰高博	4,070	16.95
腰高修	3,750	15.62
日本トラスティ・信託銀行株式会社(信託口)	730	3.04

● 所有者別株式分布状況



最新情報は、
ホームページを
ご覧ください

<http://www.koshidakaholdings.co.jp/>

事業年度	毎年9月1日から翌年8月31日まで
定時株主総会	毎年11月下旬
基準日	
定時株主総会・期末配当	毎年8月31日
中間配当	毎年2月末日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-78-2031(フリーダイヤル) 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

住所変更のお申し出先について 株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて 株主名簿管理人である中央三井信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について 配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。
ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。
※確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。



<http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード **2157**

いいかぶ

検索

Yahoo!、MSN、exciteのサイト内にある検索窓に、いいかぶと4文字入れて検索してください。



空メールにより
URL自動返信

kabu@wjm.jp へ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からも
アクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、右のQRコードからもアクセスできます。



※本アンケートは、株式会社エーツーメディアの提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。(株式会社エーツーメディアについての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただき、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ「e-株主リサーチ事務局」TEL:03-5777-3900(平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com

株式会社コシダカホールディングス

〒371-0847 群馬県前橋市大友町一丁目5-1
TEL:027-280-3371(代) FAX:027-280-3382
URL:<http://www.koshidakaholdings.co.jp/>